

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

# 嶮山小通信

10月号

横浜市立嶮山小学校

TEL:902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和 2年 9月 30日

校長 山口 昭代

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

## 事前＋本番＋事後＝自己有用感

副校長 内田 宏平

嶮山小学校の学校教育目標「夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったかハーモニー」は、私にとって耳馴染みが良く、口に出すと楽しい気持ちになるフレーズです。特に、“自分をえがこう”という部分が好きです。“自分をえがこう”・・・詩的な表現ですが、自分自身と重ねて考えるとリアルに迫ってくる気がします。今の自分は過去の自分が形作っています。過去にどのような自分をえがいていたかという事実が今の自分を作り、今の自分のえがきかたによって未来の自分ができあがっていくという感覚です。

そう考えていくと、未来の自分のために、今の自分を丁寧にえがきたくなくなってきませんか？今の自分を大切にあげたくありませんか？だって、今の自分を大切にできなければ、未来の自分のことだって粗末に扱ってしまいそうですから。

自分を丁寧にえがけるようになるために、子どもたちには『自己有用感』を高める体験を積んでほしいと私は考えています。『自己有用感』は、他人の役に立った、他人に喜んでもらえた等、相手の存在なしには生まれてこない感覚です。「自尊感情」や「自己肯定感」も大切ですが、それらは完結した個の中でも獲得し得る感覚ともいえます。相手（自分にとっての他者集団＝社会）に認められる中で形成された『自己有用感』は、生涯にわたって大きな財産になります。

さて、『自己有用感』を抱かせる側（つまり、支援する側）にとって大切なことにも触れておきたいと思います。それは、「褒めて育てる」よりも「認めて育てる」という意識です。「支援する側の求める水準に達する＝褒められる」よりも、「子どもがこだわったり見てほしかったりしたところに注目する＝認められる」方が、『自己有用感』を育むことにつながっていきます。

いよいよ、今週土曜日は運動会本番です。運動会を通して『自己有用感』を高めるために、ぜひご家庭では、【事前＋本番＋事後】をセットにしてお考えいただきたいと思います。

【事前：お子さんがどのような思いやこだわりをもってチャレンジしようとしているかを共有する】

【事後：お子さんが事前に考えていたことを一緒に振り返り、頑張りを認める】

本番が大切なのは言うまでもありませんが、【事前】と【事後】をセットで考えていただくことで、お子さんは、運動会を通して、幸せに生きるためのパワー『自己有用感』を高めることができるはずです。

5年後、10年後、20年後・・・の子どもたちの姿を想像し、我々に今できる支援を全力でしていきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様には、運動会実施に際して参観の制限等、ご不便をおかけして申し訳ありません。学校行事を通して子どもたちのダイナミックな成長を願う思いは、教職員も皆様と同じです。しかし、「やってよかった！」と子どもたちが心から思える運動会にするためには、可能な限り感染拡大防止策を講じる必要があります。多くの皆様に応援していただきたい気持ちとの狭間で、苦渋の決断をせざるを得なかった状況へのご理解をいただけましたら幸いです。